

綿 ス フ 織物情報

2022年(令和4年) 3月号 Vol. 1872

発行所: 一般財団法人 日本綿スフ機業同交会
東京都港区西麻布 1-8-7 綿工連会館 2F
TEL(03)3403-9671 FAX(03)3403-9679
URL: <https://www.jcwa.jp>

主 な 内 容

「ミラノウニカ2023SS」開催／「PVパリ23春夏」開催／東京インターナショナルギフトショー開催／「遠州織物コレクション」開催／綿工連綿's倶楽部全国交流会中止決定／「2022年度綿スフ織物業助成金事業」公募中／「ものづくり補助金」第10次公募開始／「雇用調整助成金特例措置」延長／「事業再構築補助金」2022年度も継続／下請取引運用基準改正／取引適正化に向けた取組／「責任ある企業行動ガイドライン」策定委員会第3回勉強会開催／繊維産業における責任あるサプライチェーンセミナー開催／「責任ある企業行動ガイドライン」第2回策定委員会開催／第141回繊維通商問題委員会開催／綿工連産地・企業の新聞記事一覧(2022年2月)／特許公開情報

●「ミラノウニカ2023SS」開催

2月1日(火)と2日(水)、イタリア・ミラノのロー・フィエラミラノで、テキスタイル商談会「第34回MilanoUnica」が開催された。一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構(JFW)と日本貿易振興機構(JETRO)が運営する“The Japan Observatory”に綿工連傘下では広島産地の篠原テキスタイル(ジャパндеニム)で出展した。また、今回初の試みである、同展示会出展実績のある企業を対象としたサンプル生地のみ展示する【JOBプラス】には遠州の古橋織布と天龍社のカネタ織物が出展した。

●「PVパリ23春夏」開催

2月8日(火)～10日(木)、フランス・パリのノールビルパントで、国際素材見本市「PV(ブルミエール・ヴィジョン)パリ23年春夏」が開催された。綿工連傘下では、播州の桑村繊維テキスタイル2課と備中のクロキが出展した。

●東京インターナショナルギフトショー開催

2月8日(火)から10日(木)、「第93回東京インターナショナルギフトショー春2022」と「第11回LIFE×DESIGN」が東京ビッグサイトで開催された。綿工連傘下企業では遠州織物

工業協同組合で杉浦テキスタイルと辻村染織、奈良産地の笹田織物と丸山繊維工業、西脇商工会議所で遠孫織布と播、貢織布、九州産地のミツノブは久留米地場産から出展した。また、遠州織物ブランド「武禰衣 - MUSHIA」が静岡県繊維協会より出展された。

●「遠州織物コレクション」開催

2月17日(木)と18日(金)、東京のカイタックインターナショナル2階において「遠州織物コレクション」が一般社団法人静岡県繊維協会主催で開催された。綿工連傘下の出展企業は古橋織布、榛地織物、ケイテキスタイル、高田織布工場、辻村染織、福田織物、HFP(浜松ファブリックパフォーマーズ)の有志。

●綿工連綿's倶楽部全国交流会中止決定

今年度の綿工連綿's倶楽部の全国交流会(3月5日開催)は、開催地を含む31都府県に発出されているまん延防止等重点措置に伴い、やむなく中止とした。

●「2022年度綿スフ織物業助成金事業」公募中

一般財団法人日本綿スフ織物業同交会は2022年度も標記助成金事業を実施することとし、2月21日(月)より公募を開始した。

(1) 1/2助成事業(助成上限額: 100万円)

- ① 織物製造に関連する設備関連資金等
- ② 人材育成事業
- ③ 商品開発事業
- ④ 展示会出展等需要振興事業

◎公募期間: 2022年2月22日(月)～2022年3月28日(月)15:00

(2) 産地間連携事業(他産地交流等)100%助成事業(助成上限額: 20万円)

* 申請者は工業組合、協同組合で、助成対象経費は参加者の旅費、会場借料、会議費を想定。

◎公募期間: 2022年2月21日(月)以降随時。

●「ものづくり補助金」第10次公募開始

2月16日、令和3年度補正予算による「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」の第10次公募(一般型・グローバル展開型)が開始された。第10次から業況の厳しい事業者や、デジタル・グリーン分野で生産性向上に取り組む事業者に対して、通常枠とは別に、「回復型賃上げ・雇用拡大枠」「デジタル枠」「グリーン枠」が新設された。また、「低感染リスク型ビジネス枠」については、9次締切をもって終了となった。



○スケジュール

申請受付: 2022年3月15日(火)

応募締切: 2022年5月11日(水)

○ものづくり補助金総合サイト公募要領

<https://portal.monodukuri-hojo.jp/index.html>


●「雇用調整助成金特例措置」延長

新型コロナウイルス感染症に係る雇用調整助成金・緊急雇用安定助成金、新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金の特例措置については3月末まで延長されていたが、更に6月末まで延長されることとなった。施行にあたっては厚生労働省令の改正等が必要であり、現時点での予定となる。

○4月～6月の助成内容

雇用調整助成金等・休業支援金等の助成内容(注)						別紙
雇用調整助成金等			休業支援金等			
(括弧書きの助成率は解雇等を行わない場合)(※1)						
		令和4年 3月	令和4年 4～6月		令和4年 3月	令和4年 4～6月
中小企業	原則的な特例措置	4/5(9/10) 9,000円	4/5(9/10) 9,000円	中小企業	原則的な措置 (※5)	8割 8,265円
	地域特例(※2) 業況特例(※3)	4/5(10/10) 15,000円	4/5(10/10) 15,000円	中小企業	地域特例(※6)	8割 11,000円
大企業	原則的な特例措置	2/3(3/4) 9,000円	2/3(3/4) 9,000円	大企業 (※4)	原則的な措置 (※5)	8割 8,265円
	地域特例(※2) 業況特例(※3)	4/5(10/10) 15,000円	4/5(10/10) 15,000円	大企業 (※4)	地域特例(※6)	8割 11,000円

(※1) 原則的な特例措置、地域・業況特例のいずれについても、令和3年1月8日以降の解雇等の有無で適用する助成率を判断。

(※2) 緊急事態措置を実施すべき区域、まん延防止等重点措置を実施すべき区域(以下「重点措置区域」という)において、知事による、新型インフルエンザ等対策特別措置法第18条に規定する基本的対処方針に沿った要請を受けて同法施行令第11条に定める施設における営業時間の短縮等に協力する事業主。
※重点措置区域については、知事が定める区域・業態に係る事業主が対象。
※各区域における緊急事態措置又は重点措置の実施期間の末日の属する月の翌月末まで適用。

(※3) 生産指標が最近3か月の月平均で前年、前々年又は3年前同期比30%以上減少の全国の実業主。
なお、令和3年12月までに業況の確認を行っている事業主は、令和4年1月1日以降に判定基礎期間の初日を迎えるものについては、その段階で業況を再確認する。また、令和4年4月以降は毎月業況を確認する。

(※4) 大企業はシフト制労働者等のみ対象。
(※5) 雇用保険の基本手当の日額上限(8,265円)との均衡を考慮して設定。
(※6) 休業支援金の地域特例の対象は、基本的に雇用調整助成金と同じ(左記※2)。なお、上限額については月単位での適用とする。
(例: 5月10日から5月24日までまん延防止等重点措置
→5月1日から6月30日(解除月の翌月末)までの休業が地域特例の対象)

(注) 政府としての方針であり、施行にあたっては、厚生労働省令等の改正が必要。

●「事業再構築補助金」2022年度も継続

2021年12月21日、令和3年度(2021年度)の補正予算が成立し、事業再構築補助金



は、2022年も引き続き継続することが予定された。同予算が措置される第6回公募以降は売上高減少要件の緩和、回復・再生応援枠とグリーン成長枠の新設、通常枠の補助上限額見直し等事業類型や要件が大幅に変更になる。第6回公募の開始時期は現時点では未定。

なお、現在公募中の第5回(令和2年度補正予算)の申請は3月24日(木)に締め切られる。

事業再構築補助金の見直し・拡充(令和3年度補正予算)

1. 売上高10%減少要件の緩和

第6回から

売上高10%減少要件について、「**2020年10月以降**の連続する6か月間のうち、任意の3か月の合計売上高が**コロナ以前と比較して5%以上減少していること**」を撤廃し、「**2020年4月以降**の連続する6か月間のうち、任意の3か月の合計売上高が、**コロナ以前と比較して10%以上減少していること**」のみを要件とするよう要件を緩和。

2. 回復・再生応援枠の新設

第6回から

引き続き業況が厳しい事業者(※1)や事業再生に取り組む事業者(※2)を対象とした申請類型を新設し、最大1,500万円(※3)まで、**補助率を3/4に引き上げ**(通常枠は2/3)手厚く支援。また、**主要な設備の変更を求めている要件を課さないこととし**、事業再構築に取り組むハードルを緩和する。

なお、これに伴い**緊急事態宣言特別枠は廃止**。

- (※1) 2021年10月以降のいずれかの月の売上高が対2020年又は2019年同月比で30%減少
- (※2) 再生支援協議会スキーム等に則り再生計画を策定(詳細な要件は検討中)
- (※3) 従業員規模に応じ、500万円、1,000万円又は1,500万円

3. グリーン成長枠の新設

第6回から

グリーン分野での事業再構築を通じて高い成長を目指す事業者を対象(※)に、**補助上限額を最大1.5億円まで引き上げた**(従来は1億円)新たな申請類型を創設。グリーン成長枠は**売上高10%減少要件を課さない**。なお、これに伴い卒業枠・グローバルV字回復枠は廃止。

- (※) 事業再構築の内容が、グリーン成長戦略「実行計画」14分野に掲げられた課題の解決に資する取組として記載があるものに該当し、研究開発・技術開発又は人材育成をあわせて行うことで、付加価値額年率5.0%以上(通常枠は3.0%以上)の増加を目指す場合

4. 通常枠の補助上限額の見直し

第6回から

限られた政策資源でより多くの事業者を支援するため、**通常枠の補助上限額**について、従業員規模に応じ、従来の**4,000万円、6,000万円、8,000万円から2,000万円、4,000万円、6,000万円、8,000万円に見直し**。

5. その他運用改善等

①引き続き継続

②第5回から

- ① **最低賃金枠、大規模賃金引き上げ枠は維持**し、賃上げに取り組む事業者の生産性向上について、引き続き強力に支援。
- ② 事業再構築で**新たに取り組む事業の売上高が、総売上高の10%以上**となる事業計画を策定することを求めている要件について、**付加価値額の15%以上でも認めること**とするとともに、**売上高が10億円以上の事業者**であって、事業再構築を行う**事業部門の売上高が3億円以上**である場合には、**当該事業部門の売上高の10%以上でも要件を満たすこと**とする。

3

※新型コロナウイルス感染症で影響を受ける事業者への支援パンフレット(随時更新)

<https://www.meti.go.jp/covid-19/pdf/pamphlet.pdf>



○業種別支援策リーフレット(製造業向けは 3/18~4/18ページ)

<https://www.meti.go.jp/covid-19/leaflet/leaflet.pdf>





●下請取引運用基準改正

1月26日、下請代金支払遅延等防止法に関する運用基準(平成15年公正取引委員会事務総長通達第18号)が改正された。労務費、原材料費、エネルギーコストの上昇を取引価格に反映しない取引は、下請法上の「買いたたき」に該当するおそれがあることを明確化した。これによって発注側は受注側からの価格転嫁要請があれば協議が必要となり、転嫁できない場合は書面、メール等での回答しなければ従来価格に据え置くことは出来なくなった。

○「下請代金支払遅延等防止法に関する運用基準」新旧対照表

https://www.jftc.go.jp/houdou/pressrelease/2022/jan/0126PKG/220126_02.pdf



○下請代金支払遅延等防止法に関する運用基準(公正取引委員会 HP)

<https://www.jftc.go.jp/shitauke/legislation/unyou.html>



●取引適正化に向けた取組

2月10日(木)に行われた「未来を拓くパートナーシップ構築推進会議」において、萩生田経産大臣から以下の「取引適正化に向けた5つの取組」が発表された。中小企業の賃上げ原資の確保や、エネルギー価格・原材料価格の上昇に対応するためにも、大企業と下請中小企業との取引の更なる適正化に向けて取組むとしている。

- ①価格交渉のより一層の推進
- ② パートナーシップ構築宣言の大企業への拡大、実効性の向上
- ③下請取引の監督強化
- ④知財Gメンの創設と知財関連の対応強化
- ⑤約束手形の2026年までの利用廃止への道筋

●「責任ある企業行動ガイドライン」策定委員会第3回勉強会開催

2月21日(月)、第3回の「責任ある企業行動ガイドライン」策定委員会の勉強会がオンラインで開催された。当日は、ベトナムの労働法に詳しい弁護士、アジア移住労働者センター、UAゼンセンからの講師による技能実習制度を含めた外国人労働者問題をテーマに講演があった。

●繊維産業における責任あるサプライチェーンセミナー開催

経済産業省は、繊維産業における責任あるサプライチェーン管理を推進するため、2月22日(火)にオンライン形式のセミナーを開催し、経産省の永澤生活製品課長が「繊維産業における責任あるサプライチェーン管理に関する現状と課題」について講演した。また、繊維事業者2社の取組内容も紹介された。

●「責任ある企業行動ガイドライン」第2回策定委員会開催

2月28日(月)、日本繊維産業連盟が策定準備を進めている標記ガイドラインの第2回策定委員会がオンラインで開催され、主に項目案について検討した。このガイドライン策定趣旨については本誌2021年9月号に掲載。

●第141回繊維通商問題委員会開催

2月7日(月)、日本繊維産業連盟の第141回繊維通商問題委員会がオンラインにより開催された。議題は、(1)日本の繊維貿易の現況について(2021年1～12月期・2021年12月)、(2)各国とのEPA交渉状況について、(3)その他。

1. 輸出入全般の動向

2021年1～12月期の繊維貿易

	円ベース		ドルベース	
	百万円	前年同期比(%)	百万ドル	前年同期比(%)
輸 出	862,413	114.3	7,840	111.0
輸 入	3,895,666	96.9	35,472	94.1

①2021年12月単月に関しては、輸出は円ベースで84,493百万円(前年同月比115.8%)、輸入は円ベースで310,847百万円(前年同月比100.2%)。

②2021年1～12月累計の繊維品別輸出入実績に関しては、輸出(円ベース)の前年同期比は繊維原料108.1%、糸類(紡績糸・合繊糸)は123.4%で、うち綿糸は138.0%、毛糸は115.8%、合繊糸は130.1%。織物は106.1%で、うち綿織物は107.4%、毛織物は95.9%、合繊織物は108.6%。二次製品は118.2%。

輸入(円ベース)の前年同期比は、繊維原料は114.5%、糸類(紡績糸・合繊糸)は125.1%で、うち綿糸は142.7%、毛糸は83.5%、合繊糸125.8%。織物は106.6%で、うち綿織物は98.6%、毛織物は68.5%、合繊織物は116.2%。二次製品は95.7%。

2. 各国・地域別輸出入の動向

○輸出(2021年1～12月累計)

I. 2021年1～12月の前年同期比(円ベース)は、東南アジア(中国含む)向けは109.7%、欧州121.7%、米州134.3%。

II. アジアにおいては中国が111.7%。シェアは28.1(前年同期比+0.7ポイント)。アセアン主要国は前年同期比でインドネシアが110.9%、ベトナム105.3%。タイは126.2%と増加。アセアン全体では107.5%、シェアは23.2%(前年同期比+1.5ポイント)。アセアン以外ではインドが130.9%と増加が続く。パキスタン115.5%、バングラデシュが118.6%。

○輸入(2021年1～12月累計)

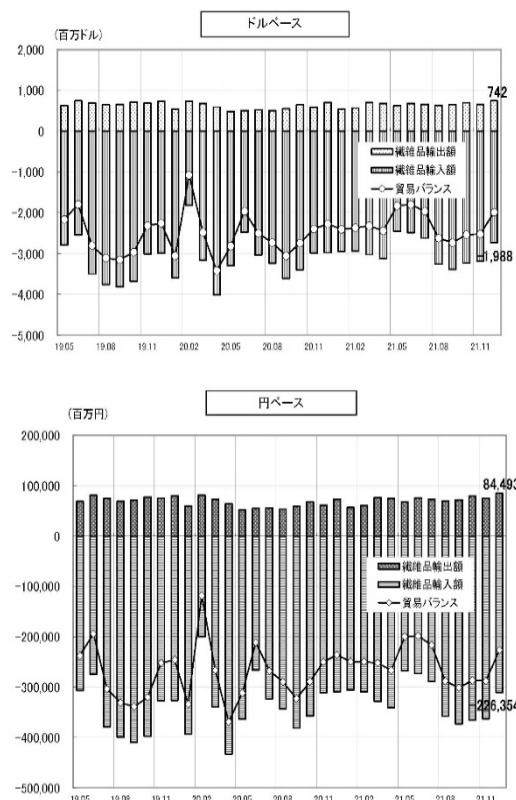
I. 2021年1～12月累計の前年同期比(円ベース)は、東南アジア(中国含む)が96.3%、欧州102.3%、米州104.2%。



Ⅱ.アジアにおいては中国が93.7%、シェアは56.2%(前年同期比－1.9ポイント)と減少。アセアン主要国ではインドネシア101.4%、ベトナム92.3%、ミャンマーが72.5%。マレーシアは146.2%と好調継続。アセアン全体では98.7%、シェアは27.9%(前年同期比＋0.5ポイント)。アセアン以外では パキスタンが113.2%、バングラデシュ114.9%と増加。

輸出入動向

年月	繊維品輸出額		繊維品輸入額		貿易バランス		為替レート
	百万ドル	百万円	百万ドル	百万円	百万ドル	百万円	
19.05	624.6	68,596	2,789.5	306,369	-2,164.9	-237,773	109.83
19.06	745.4	80,549	2,540.3	274,509	-1,794.9	-193,960	108.06
19.07	690.2	74,891	3,497.3	378,483	-2,807.2	-303,792	108.22
19.08	648.6	68,922	3,760.5	399,630	-3,111.9	-330,708	106.27
19.09	660.0	70,887	3,813.9	409,654	-3,153.9	-338,767	107.41
19.10	713.6	77,150	3,679.2	397,799	-2,965.7	-320,649	108.12
19.11	689.4	75,046	3,005.3	327,159	-2,315.9	-252,113	108.86
19.12	734.1	80,145	2,987.2	326,144	-2,253.1	-245,999	109.18
20.01	541.2	59,178	3,594.3	393,002	-3,053.1	-333,824	109.34
20.02	738.6	81,221	1,813.7	199,433	-1,075.0	-118,212	109.96
20.03	676.4	72,576	3,159.1	338,942	-2,482.7	-266,366	107.29
20.04	593.6	64,062	4,012.2	433,037	-3,418.7	-368,975	107.93
20.05	482.8	51,813	3,295.7	363,666	-2,812.9	-311,853	107.31
20.06	509.5	54,804	2,473.7	266,068	-1,964.2	-211,264	107.56
20.07	524.1	55,962	3,028.7	323,409	-2,504.7	-267,447	106.78
20.08	503.4	53,376	3,234.2	342,957	-2,730.9	-289,581	106.04
20.09	553.8	58,563	3,606.1	381,313	-3,052.3	-322,750	105.74
20.10	648.7	68,266	3,394.0	357,179	-2,745.3	-288,913	105.24
20.11	589.4	61,537	2,984.1	311,538	-2,394.6	-250,001	104.40
20.12	703.1	72,991	2,977.5	309,129	-2,274.5	-236,138	103.82
21.01	541.3	56,134	2,948.4	305,745	-2,407.0	-249,611	103.70
21.02	569.6	60,011	2,939.1	309,666	-2,369.6	-249,655	105.36
21.03	704.6	76,560	3,023.9	328,550	-2,319.3	-251,990	108.65
21.04	681.9	74,414	3,124.1	340,930	-2,442.2	-266,516	109.13
21.05	621.2	67,829	2,449.6	267,468	-1,828.4	-199,639	109.19
21.06	683.5	75,259	2,483.7	273,478	-1,800.2	-198,219	110.11
21.07	658.6	72,638	2,621.9	289,169	-1,963.3	-216,531	110.29
21.08	634.1	69,853	3,256.3	357,672	-2,622.2	-288,019	109.84
21.09	651.6	71,781	3,384.6	372,877	-2,733.0	-301,096	110.17
21.10	695.6	78,676	3,231.2	365,451	-2,535.6	-286,775	113.10
21.11	656.8	74,966	3,177.8	362,676	-2,520.9	-287,710	114.13
21.12	742.0	84,493	2,729.8	310,847	-1,987.8	-226,354	113.87
21.01-12	7,840.9	862,413	35,471.9	3,895,666	-27,631.0	-3,033,253	
前年同期額	7,064.7	754,349	37,573.4	4,019,673	-30,508.8	-3,265,324	
前年同期比	776.2	108,064	-2,101.5	-124,007	2,878	232,071	
	111.0%	114.3%	94.4%	96.9%	90.6%	92.9%	





繊維品輸出総括表12月実績、1-12月対比

品目	単位	2020年1~12月			2021年1~12月			前年同期比(%)			2021年12月			前年同月比(%)		
		数量	千ドル	百万円	数量	千ドル	百万円	数量	ドル	円	数量	千ドル	百万円	数量	ドル	円
繊維原料	トン	448,864	837,300	89,582	428,072	880,048	96,813	95.4	105.1	108.1	37,077	78,379	8,925	90.8	109.5	120.1
合繊短繊維	トン	147,230	598,698	63,881	159,110	706,553	77,750	108.1	118.0	121.7	13,273	62,572	7,125	96.7	112.0	122.8
セルロース短繊維	トン	26,702	114,528	12,454	10,517	42,817	4,702	39.4	37.4	37.8	961	4,089	466	97.7	104.4	114.5
糸類	トン	88,751	848,682	90,629	108,553	1,017,180	111,842	122.3	119.9	123.4	9,853	96,619	11,002	105.9	108.8	119.3
毛糸	トン	249	9,638	1,030	288	10,855	1,193	115.9	112.6	115.8	18	574	65	150.0	100.5	110.2
綿糸	トン	897	10,908	1,166	1,515	14,592	1,609	168.9	133.8	138.0	117	1,250	142	111.4	112.0	122.4
合繊糸	トン	74,632	619,997	66,194	93,794	782,977	86,108	125.7	126.3	130.1	8,513	74,354	8,467	105.7	110.0	120.6
セルロース繊維糸	トン	8,309	111,776	11,946	8,977	125,157	13,748	108.0	112.0	115.1	883	12,669	1,443	121.8	125.1	137.3
織物類	千㎡	620,732	1,933,333	206,411	669,208	1,988,600	218,914	107.8	102.9	106.1	71,679	209,464	23,852	113.5	107.4	117.8
綿織物	千㎡	79,142	305,060	32,536	78,368	316,946	34,938	99.0	103.9	107.4	8,405	34,099	3,883	107.4	106.7	117.0
絹織物	千㎡	3,635	35,514	3,791	3,850	34,827	3,830	105.9	98.1	101.0	390	3,362	383	126.6	93.8	103.0
毛織物	千㎡	9,240	103,944	11,103	8,650	96,558	10,645	93.6	92.9	95.9	543	5,324	606	117.0	109.7	120.2
合繊織物	千㎡	432,882	1,072,427	114,488	482,218	1,128,730	124,282	111.4	105.3	108.6	52,668	126,008	14,349	113.6	106.2	116.5
セルロース繊維織物	千㎡	30,461	146,577	15,646	31,359	146,916	16,185	102.9	100.2	103.4	3,439	18,054	2,056	110.9	109.1	119.7
二次製品	トン	180,266	3,446,614	367,866	201,041	3,955,060	434,844	111.5	114.8	118.2	18,309	357,549	40,714	101.5	102.8	112.8
衣類	トン	4,300	692,990	73,962	5,018	863,900	94,971	116.7	124.7	128.4	482	78,791	8,972	120.2	116.8	128.1
その他	トン	175,966	2,753,623	293,904	196,023	3,091,160	339,873	111.4	112.3	115.6	17,827	278,758	31,742	101.1	99.5	109.1
総計	トン	803,210	7,065,930	754,488	826,444	7,840,888	862,413	102.9	111.0	114.3	74,535	742,011	84,493	96.9	105.5	115.8

(注) 1. 「繊維品」の範囲は統計分類1404.20.4015.4203.4303.4304.50~63(EX.5604).65.7019.12.7019.19200.7019.19900.7019.40~59である。

2. 糸類には人造繊維の長繊維糸(小売用)(5406.00-000)を含む。

繊維品輸入総括表12月実績、1-12月対比

品目	単位	2020年1~12月			2021年1~12月			前年同期比(%)			2021年12月			前年同月比(%)		
		数量	千ドル	百万円	数量	千ドル	百万円	数量	ドル	円	数量	千ドル	百万円	数量	ドル	円
繊維原料	トン	234,862	491,096	52,524	243,270	546,788	60,115	103.6	111.3	114.5	19,771	48,745	5,551	106.7	130.7	143.4
まゆ・生糸	トン	240	10,960	1,175	389	17,133	1,885	153.5	156.3	160.4	29	1,534	175	145.0	158.5	175.0
羊毛等	トン	7,704	79,118	8,485	6,346	65,292	7,189	82.4	82.5	84.7	639	7,107	809	119.4	152.8	167.5
綿花	トン	64,441	95,749	10,267	65,178	110,195	12,111	101.1	115.1	118.0	4,605	8,511	969	111.8	140.7	154.3
合繊短繊維	トン	80,166	159,241	17,007	83,002	170,207	18,693	103.5	106.9	109.9	7,013	14,297	1,628	96.4	111.2	121.9
セルロース短繊維	トン	13,356	30,866	3,296	14,294	34,667	3,808	107.0	112.3	115.5	681	1,676	191	65.0	77.0	84.5
糸類	トン	215,698	808,760	86,543	256,174	984,371	108,242	118.8	121.7	125.1	19,151	83,031	9,455	108.9	139.2	152.7
毛糸	トン	2,979	62,164	6,673	2,448	50,727	5,573	82.2	81.6	83.5	209	4,038	460	156.0	157.1	172.3
綿糸	トン	664	33,658	3,607	734	37,896	4,170	110.6	112.6	115.6	60	3,668	418	122.4	171.3	188.3
綿糸	トン	39,592	150,481	16,108	47,807	208,968	22,986	120.8	138.9	142.7	4,123	20,624	2,348	149.6	205.4	225.3
合繊糸	トン	158,968	494,985	52,937	189,777	605,749	66,594	119.4	122.4	125.8	13,424	46,962	5,348	98.1	118.7	130.2
セルロース糸	トン	8,507	38,860	4,166	10,294	48,830	5,372	121.0	125.7	128.9	827	4,222	481	139.2	146.2	160.3
織物類	千㎡	801,161	1,076,202	115,057	798,472	1,115,979	122,708	99.7	103.7	106.6	61,279	98,535	11,220	104.1	121.2	133.0
綿織物	千㎡	226,616	206,497	22,060	188,507	198,017	21,746	83.2	95.9	98.6	13,395	17,999	2,050	77.0	105.2	115.4
絹織物	千㎡	2,580	27,719	2,963	2,762	28,822	3,171	107.1	104.0	107.0	219	2,743	312	149.0	154.0	168.6
毛織物	千㎡	10,962	111,428	11,931	6,891	74,164	8,171	61.0	66.6	68.5	646	6,809	775	96.7	110.6	121.3
合繊織物	千㎡	462,709	455,230	48,865	486,145	513,890	58,563	105.1	112.9	116.2	38,050	45,344	5,183	118.6	129.7	142.3
セルロース織物	千㎡	67,913	39,199	4,193	81,021	44,301	4,865	119.3	113.0	116.0	8,494	4,253	484	109.0	107.9	118.3
二次製品	トン	2,116,098	35,312,813	3,767,885	2,094,620	32,824,800	3,604,801	99.0	93.0	95.7	170,010	2,499,531	284,622	93.2	89.0	97.6
衣類	トン	1,032,656	25,529,552	2,723,862	1,042,689	25,790,726	2,832,090	101.0	101.0	104.0	80,664	1,909,810	217,470	86.8	88.7	97.3
その他	トン	1,083,442	9,783,261	1,044,223	1,051,931	7,034,074	772,511	97.1	71.9	74.0	89,346	589,721	67,152	99.9	89.8	98.5
総計	トン	2,742,789	37,688,872	4,022,008	2,779,808	35,471,937	3,895,666	101.3	94.1	96.9	223,417	2,729,843	310,847	96.3	91.4	100.2

(注) 1. 「繊維品」の範囲は統計分類1404.20.4015.4203.4303.4304.50~63(EX.5604).65.7019.12.7019.19090.7019.40~59である。

2. 糸類には人造繊維の長繊維糸(小売用)(5406.00)を含む。



●綿工連産地・企業の新聞記事一覧（2022年2月）

繊維ニュース

- 2月 1日 「篠原テキスタイル」 サステ生地拡充 ウガンダの有機綿などで(広島)
- 2月 2日 21年の岡山県織物生産 21年は13.5%減、7月以降は回復傾向(岡織工組纏め)
- 2月 3日 JFWOとジェトロ 第34回MUに日本コーナー JOBプラスに古橋織布(遠州)、カネタ織物(天龍社)出展
- 2月 7日 【タマキニメ】 本社工場に紡績設備導入 23日、西脇市に新店舗開業(播州)
- 2月 7日 「ショーワ」 天然素材の生地など開発強化(岡山)
- 2月 8日 『ひと』 ショーワの社長に就いた片山真一朗氏 高品質にこだわる(岡山)
- 2月 8日 北播磨地場産業開発機構 播州織展の来場者630人 アパレル・小売が最多
- 2月 9日 「播」 ヘソデニムで初CF 目標金額の2倍達成(播州)
- 2月10日 三備産地のデニムメーカー 攻勢の切り札はサステ 輸出回復で増収基調に
- 2月10日 「カイハラ」 衣料品以外や輸出で新規を 液体のインディゴでサステ対応(広島)
- 2月15日 知多でC反再活用の動き「竹内宏商店」 ハンドメイド市場に生地販売
- 2月16日 「日本綿布」 ファクトリーショップ6月に 見学と販売で産地ブランド振興(備中)
- 2月17日 「新美」 OCS国際認証を取得 和晒の三共晒と共に(知多)
- 2月21日 『往来』【タマキニメ】 玉木新雌代表 モノ作りの現場から地域に活気を(播州)
- 2月22日 遠州産地の繊維企業 個性の訴求で存在感増す 新規顧客や用途開拓も
- 2月25日 「丸山繊維産業」 奈良と奄美のコラボ 蚊帳地ストールをCFで(奈良)
- 2月25日 「タカヤ商事」 2月期の売上高60億円 主力2事業とも増収に(備中)
- 2月28日 1月の岡山県織物生産 合繊織物が大幅増(岡織工組纏め)

織研新聞

- 2月 3日 JAFIC 【Jクオリティー】事業で11社と連携 工場ブランド中国へ 中国紡織が参加(広島)
- 2月 8日 <ミラノユニカ> 日本PBが復活 篠原テキスタイル(ジャパンデニム)がリアル出展(広島)
- 2月18日 播州織ファッションショーを配信 北播磨地場産業開発機構「スーパーノヴァ」と協業
- 2月21日 Jクオリティープロジェクト「中国紡織」オリジナルの二重織り刺子風デニムを使用(広島)
- 2月25日 <ジャパンテキスタイル・コダワリノヌ2022> 3月2日～4日 カネタ織物出展(天龍社)
- 2月25日 遠州織物の服で人気上昇 「ハウス」 超細番の高密度の風合いと肌触り

●特許公開情報

2022年2月に公開された織物の製造方法に関する、特許公開情報です。

特許電子図書館 HP: <https://www.j-platpat.inpit.go.jp/>

検索範囲: 4L048, D03D1/00～D03D27/00

[特許公開情報]

(2022年2月公開分)

< 2月分 >

項番	文献番号	出願人	発明の名称
1	特開 2022-020966	モリリン(株)	ポリエステル織編物及びこれを用いたユニフォーム、並びに、当該ポリエステル織編物の製造方法
2	特開 2022-021491	東レ(株)	織物およびその製造方法
3	特開 2022-021599	旭化成(株)	ガラスクロス、プリプレグ、及びプリント配線板
4	特開 2022-021666	旭化成(株)	ガラスクロス、プリプレグ、及びプリント配線板
5	特開 2022-021669	旭化成(株)	ガラスクロス、プリプレグ、及びプリント配線板
6	特開 2022-021872	ユニチカトレーディング(株)	織編物及び織編物の製造方法
7	特開 2022-023593	東洋紡STC(株)	織物
8	特開 2022-024192	Spiber(株)	複合糸、及びその製造方法、並びに布地
9	特開 2022-024194	Spiber(株)	複合糸、及びその製造方法、並びに布地
10	特開 2022-024468	東レ(株)	混織糸及び織編物
11	特開 2022-025057	リー, スン・マン (韓国) リー, ドン・ホー (韓国) ソン, ウェン・チョル (韓国)	垂直保護網
12	特開 2022-025218	東レ(株)	ポリアミド繊維
13	特開 2022-026045	帝人(株)	入力素子及びスイッチ
14	特開 2022-026364	妙中パイル織物(株) コクヨ(株)	パイルを有したホワイトボード用イレーザ
15	特開 2022-026400	住江織物(株)	光照射により防蚊可能な布帛及び該光照射による防蚊可能な布帛を用いた防蚊方法
16	特開 2022-026952	倉敷紡績(株)	紡績糸及びこれを用いたループパイルタオル

いいものはきもちいい。
——こだわりの品質、ジャパン・コットン。

**JAPAN
COTTON**



Pure Cotton



綿100%
「ピュア・コットン・マーク」

**JAPAN
COTTON**



Pure Cotton

綿混率50%以上
「コットン・ブレンド・マーク」

**JAPAN
COTTON**



Cotton Blend

日本で生まれて日本に育った私たちは、日本人だけに分かる心地よさを知っています。たとえば、春の日溜まりのぬくもり、夏の打ち水の涼しさ、障子からもれる明かり、鈴虫の音色。日本人だからこそ分かる本当の快適さを、しっかりと保証するための印を作りました。

ジャパン・コットン・マーク。日本国内で製造した高品質の綿素材を使用した製品だけに、その優れた品質を保証して添付されます。